

## 平成 25 年度

### 宮 田 村 教 育 委 員 会 4 月 定 例 会 々 議 録

1 開催日時：平成 25 年 4 月 23 日(火) 13：30～16：40

2 開催場所：宮田村民会館 第 1 研修室

3 出席委員

- (1) 篠田 秀児 委員長（以下「委員長」と表記。）
- (2) 村田 壽雄 委員長職務代理者（以下「職務代理」と表記。）
- (3) 加藤 アヤ 委員（以下「加藤委員」と表記。）
- (4) 池上 由美子 委員（以下「池上委員」と表記。）
- (5) 平澤 武司 教育長（以下「教育長」と表記。）

4 欠席委員：なし

5 その他、会議に出席した者の氏名

- (1) 小林 敏雄 教育次長（以下「次長」と表記。）
- (2) 原 寿 子育て支援係長（以下「子育て係長」と表記。）
- (3) 伊藤 哲也 学校教育係長（以下「学校係長」と表記。）
- (4) 鈴木 仁 生涯学習係長（以下「生涯係長」と表記。）

6 教育委員長あいさつ

委員長：天候が不順なので体調を整えながらやっていきたい。

・県の教育長も替わって新しい指針が始まるようだ。教育委員会の位置づけが変わるようだが、個人としては諮問的立場で良いだろう。情報をもらいながらやっていきたい。学校は無事動いているようだ。

7 子育て支援係長の紹介

次 長：子育て支援係長の紹介。

子育て係長：挨拶。

8 会々議録の承認

次 長：3 月定例会の会議録の承認をお願いしたい。

9 議 題

- (1) 教育委員会活動報告（教育長報告） (1 ページ)

次 長：資料により説明。

(2)議 事

第1号 宮田村就園・就学支援委員会の委員について (2 ページ)

子育係長：資料により平成 25・26 年度委員の説明。

※協議内容には個人情報が含まれるため、公開しません。

委 員：全員承認。

第2号 社会教育委員について (3 ページ)

次 長：資料により平成 25・26 年度委員の説明。

※協議内容には個人情報が含まれるため、公開しません。

委 員：全員承認。

第3号 公民館運営審議会の委員について (4 ページ)

次 長：資料により平成 25・26 年度委員の説明。

※協議内容には個人情報が含まれるため、公開しません。

委 員：全員承認。

第4号 文化財保護審議会の委員について (5 ページ)

次 長：資料により平成 25・26 年度委員の説明。

※協議内容には個人情報が含まれるため、公開しません。

委 員：全員承認。

第5号 図書館協議会委員について (6 ページ)

次 長：資料により平成 25・26 年度委員の説明。

※協議内容には個人情報が含まれるため、公開しません。

教 育 長：承認の得られない分は、次回に提案する。

委 員 長：もう一度出し直してもらおうということにする。

第6号 学校評議員について (6-2 ページ)

学校係長：資料により平成 25・26 年度委員の説明。

※協議内容には個人情報が含まれるため、公開しません。

委 員：全員承認。

第7号議案について

生涯係長：第7号議案については、村長の委嘱のため今回議題にあげるものではなかった。

委 員 長：提案を取り下げる。

委員：全員承認。

### (3) 報告

報告1号 子育て支援センターの建設についての報告 (7 ページ)

次長：資料により説明。

・委員が空席になっている子育て学級の代表は、育児が忙しく選出できないという報告があった。

委員長：トラブルはないのか？

次長：選出できないことについては、学級の皆さんに了解を得ている。問題はない。

子育て係長：子育て支援センター基本設計打ち合わせ内容、スケジュールについて説明。

- ・4/16に第1回の委員会を開催した。基本設計は5月末までに完了したい。ゆうゆう広場と学童が移転する。今後もメンバーを限定せずに意見を聞くことにしている。6月には設計を決定し、9月に発注する。消費税が5%で済む9月末までの契約を目指している。消費税の関係で駆け込み契約が多いので、日程的には厳しい。
- ・旧中央保育園の遊戯室を活用する案もあったが、第1回の会議では遊戯室は残さないことに決まった。35年経っていること、現地調査に50万円かかり、基礎については試験機関への持ち込み調査などで、耐震診断に2週間必要になる。スケジュール的にも無理がある。耐震設計に200万円と、新築部分と繋ぐ廊下の建設工事費用が820万円かかることや、耐震工事をしても15年しかもたない。その間に大きな地震があれば使えなくなる可能性もある。新築すれば耐用年数は70年。これらの理由により、旧遊戯室は使用しないことに決定した。
- ・駐車場の位置については北と南で意見を聞いた。南駐車場が有力だが、形状も含めまだ決定とはなっていない。2回目には決まる予定。

委員長：加藤委員、これについての補足はないか？

加藤委員：今の話がすべて。

委員長：図面を出して反論はなかったか？

加藤委員：図面ではなくプレート上での説明だったので、特に反論はなかった。

次長：次回は5/1。それまでに図面ができる。

教育長：予算があるからと言うのではなく、できる限り切り詰めるようお願いしてある。

次長：議会の付帯決議を示し、金額を抑えてほしいことは伝えてある。

職務代理：予算もあるだろうが、予算内でも十分にやってほしい。

教育長：事務局として、他にも予算内で努力しなければいけないことができた。地盤が湿地であるらしい。

次長：水脈が高いらしい。設計士には伝えたが、基礎工事がどうなるかは未定。排水も含め検討が必要。

委員長：公的機関として、ソーラーシステムを設置すべきではないか。工夫してほしい。

学校係長：小学校の場合は3,000万円かかった。

教 育 長：ソーラー設置は今回は無理だが、将来の設置に備え強度的に耐えられるよう作る予定。  
屋上を貸すと言うこともできる。ローンの代わりに売電もできる。グリーンニューディール政策は、民間保育園には手厚いが、官には補助金が出ない。

次 長：駐車場の西側にある桜1本といちょうの木3本は、隣家との関係で伐採する予定。

委 員 長：5/1の会議はうまく進みそうか？

次 長：雰囲気は良いと思う。

子育係長：検討する機関は短いが、心配はないと思う。

委 員 長：スムーズに進んでいるということ。

委 員 長：全員承認。

#### 報告2号 運動会全体会議についての報告 (12 ページ)

次 長：全体会議を開催し、今年の開催は決まった。

生涯係長：資料により説明。

- ・運動会は、従来に比べ1時間半短縮し半日規模とした。
- ・会議は、前回の反省とアンケートの結果報告から協議を始めた。(運動会を)開催することで、公民館としては地域交流に役立ててほしいと考えている。内容についてはこれから検討する予定。会議では旧態依然を反省し、区の声聞きながら提案した。時短を惜しむ声は少なかった。

教 育 長：全体会議で意見が出なかったのはなぜか？

生涯係長：主となる人が区長や分館長で、すでに協議されていたからか？人数が多い場では意見を出しにくいということも考えられる。

次 長：各機関で協議はしてきたので、今回は出なかったのではないか。半日開催が落としどころ。今年開催して大変となれば、反省で廃止の声も出てくると思う。

- ・夏祭りもなくなり、村中の方が集まる唯一の機会になっている。役員員の負担がなくなったわけではない。運動会開催の半年前の会議に出てくること自体に積極性を感じる。
- ・それぞれの会議では反対(中止等)の意見もあったようだ。

委 員 長：承認はされたか？

生涯係長：承認された。

加藤委員：秋期スポーツ大会は今年開催されなくなるが。

次 長：運動会の開催と、運動会の開催年の秋季スポーツ大会の中止は承認された。

生涯係長：各地区に持ち帰ってもらった結果、秋期スポーツ大会については体育部長会で全地区が不要という意見だった。今年は大会を休んで様子を見る。運動会よりスポーツ大会の開催を望む声もあったが、スポーツ大会は参加者が限られ、運動会はお年寄りから子どもまで楽しめる。

委 員 長：運動会開催に反対するのは、以前の行進のような「ハイル・ヒトラー」のような雰囲気を毛嫌いしていたのではないか？

教 育 長：そうではなく、役員さんが人を集めるのが大変だから。

職務代理：少人数のチーム(区)の方が結束して強い。大人数の団体(区)は、全員が参加していないということか。

委員長：そういうことも考えられる。村の行事として続いてきたようだが。

職務代理：運動会はスポーツ振興のためなのか、村民の親睦のために行っているのか、曖昧。

次 長：体力増強のためだけではない。

- ・地域が盛り上がるために開催している。応援などにも点数をつけたりもした。地域の中にリードする人がいれば盛り上がる。見るだけの人にも参加賞を渡すなどのお願いもしてきた。

委員長：仲良しの団体の中には入りにくいと感じる人もいる。うるさすぎていやがる人もいる。妥当な雰囲気を進めてもらいたい。

委員：全員承認。

#### 報告3号 平成25年度児童生徒の状況についての報告 (14ページ)

次 長：資料により説明。

学校係長：体罰のアンケートについて説明。

- ・結果は県に報告済み。小学校の報告事項については、確認の結果、無記名のため事実確認できず体罰扱いできない、事実が確認できないなど、すべて体罰にはあたらなかった。

- ・中学校では1件、20年度に小3の頃体罰があったと認められ報告した。アンケートに上がったものについては担任と保護者、生徒、時には校長も入って懇談をした。

職務代理：体罰の先生は今いないのか？

教育長：同先生は非常勤の先生で、辞めてもらった。当時の校長は精一杯指導された。

加藤委員：同先生については何件も報告があったが、校長先生が対応していた。

学校係長：県教育委員会では、結果は郡の範囲でマスコミに報告するよう検討しているようだ。

教育長：義務教育の場の方が体罰は起こりがち。部活指導は熱中しすぎてしまう。

委員長：教育委員会にも質問は来るか？

教育長：来る可能性はある。その時は、県に報告してあるので県の教育委員会に取材するように伝えてください。質問された場合、「自己申告があったことは承知しているが、県に聞くように」と言ってください。公開請求もあるかもしれないが、その時点で考え、公開条例に則り対応する。個人を特定しないようにして、子どもは守らなければならない。

学校係長：東日本大震災関係では、引き続き教員住宅を3家族に無償で貸している。村の方針としては、被災県の支払い保証なしでも、1年間は支援を続ける。電気料、水道料以外は無料。

## 10 その他

### (1)当面の日程についての報告 (18ページ)

次 長：日程の説明。

委員長：5月31日、6月1日に関東甲信越教育委員長研修会がある。

- ・次回日程：5月28日(火) 13時30分 第1研修室

委員：全員了承。

(2) 県教委情報についての報告 (20 ページ)

次長：県教委の異動について、伊藤教育長のみが新任。

委員長：他に資料はないか？

次長：県からはない。

委員：全員了承。

(3) その他

・長野工科短期大学設置に関する説明会について (21 ページ)

次長：説明会の日程はまだ決定していない。

・5/2 予定の駒ヶ根市の説明会は中止になった。

教育長：書類の代表者名が駒ヶ根市委員長では筋が通らない。宮田村教育委員長の名前で要請したので、本来なら篠田委員長を代表として進めるべきではないか？

委員長：実質的には駒ヶ根市だが、形式上はこちらか。

次長：今回はこの形で進めてもらった。(南部市町村教委)か？

教育長：次回は相談してほしい。要望書は南部の会長と篠田委員長の連名で出したのだから、回答はその二人に来るべき。

・田原市教育委員の異動について (25 ページ)

次長：教育長が替わられたことを、情報として報告。

・教育再生実行会議・公的塾について (26 ページ)

次長：資料により説明。

教育長：学校5日制が崩れてきている。長野県とは勤務態勢が異なるが、東京では半数以上が土曜も授業を行っている。村としては工夫して月1回位で土曜の授業をやりたい。教科以外でも研究していく時期か。予算措置も考えて、大変だが市町村でやっていく。ボランティアでは長続きしない。杉並区の夜間塾はその後どうなっているのか不明。群馬県も土曜授業をやっている。長野県では高校の進学校で土曜授業をやっている。高校の教師は代休扱いできるが、義務教育は難しい。どこも法律ぎりぎりのところで実施している。学校5日制は元に戻した方が良い。

職務代理：伊那北などは、年15回くらいだが、土曜日は強制できないので、今は勤務体系を変えて平日休める体制をとっている。

次長：日本は詰め込みすぎで、フィンランドは逆。

委員長：それは先生の訓練度が違うから。個別の違いを認める教育をしている。これが基本。日本の教育体制は親がやるのではなく学校にお任せ状態。

教育長：いろいろ見てみる必要がある。

委員長：イタリアでは就学前の子どもを預ける時間を半日と全日で選択できる。これは学校に教育を任せすぎると家庭教育がおろそかになるという発想から。

次長：日本は母親に社会へ出ることを勧めて、家庭教育を軽くしようとしている。

委員長：フィンランドは男女が同一賃金同一労働で、夫婦で1.5人分の労働をしている。

次長：理想だが、日本ではまだ一部しかできていない。

委員長：給料は減っても良いという発想が必要ではないか。

教育長：職場の数を増やすことも必要。

次長：少子化の中、村では57名の出生があった。京都は出生数が増えている。

教育長：京都に住みたいと思う理由は何か考えてみたい。

- ・今後、5日制の問題を提議し一貫教育についても情報を得ながら対応したい。
- ・次回の定例会だが、駒ヶ岳も教育委員会の守備範囲なので、移動定例委員会も検討したい。

委員長：ヨーロッパの教育は、基本的にキリスト教社会が背景にある。幼稚園は教会が開いていて、キリスト教の道徳を教える。日本では武士道の道徳を取り入れようとしている。骨格になるものをどこに置くか間違えないようにしたい。宗教が入り込むと教育の中立がなくなるので、地方教育委員として学問の思想をどこに置くのか、外部の情報を手に入れながら考えていきたい。

## 11 閉会(委員長)